

教育ながの

ー長野県教育委員会メールマガジンー

第 610 号
平成 25 年 9 月 20 日



しあわせ信州

1. ひろば

“国立劇場の夏”

長野県教育委員会高校教育課長 菅沼 尚

2. 特集

- ・「教職員の不祥事根絶のための教育委員会緊急会議」を開催しました
教育総務課、義務教育課
- ・平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

教学指導課

3. 今、学校では

学校間連携・高大連携・産学連携 「デパートサミット」

長野県高等学校長会商業部会（長野県商業教育研究会）

事務局 長野商業高等学校

4. ご存知ですか

もうすぐ開校 「諏訪清陵高校附属中学校」

高校教育課

5. イベント情報・お知らせ

6. あとがき



“国立劇場の夏”

高校教育課長 菅沼 尚

こ

の夏、長崎で開かれた全国高等学校総合文化祭の演劇、日本音楽、郷土芸能の各部門で優秀な成績を収めた4校ずつ、計12校が東京国立劇場に集まり2日間の公演を行った。このうち、日本音楽部門で最優秀賞の飯田高校、演劇部門で優秀賞の丸子修学館高校の2校が長野県から出演した。

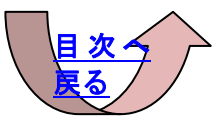


丸

丸子修学館高校が出演した日の公演を観る機会を得たが、当日のトリを飾った丸子修学館高校の「K」が会場を圧倒した。朝日新聞では「スケールの大きい異色作」と評した。フランク・カフカのいくつかの小説とカフカ自身の生や内面を重層的に構成し「生きる」ことを考えさせる作品と難しそうにまとめることもできそうだが、何といってもおもしろい。演劇の持つであろうエンタテインメント性、創造性など幅広い面を見せてくれる。CMでなじみのカールおじさん”が“花道”から登場したり、武士姿の登場人物が

平

成30年度には、長野県で全国高等学校総合文化祭が開催される。本県に伝わる歌舞伎や人形浄瑠璃などが国立劇場という場で公演できるというのは夢だろうか。



特集

「教職員の不祥事根絶のための教育委員会緊急会議」を開催しました

教育総務課、義務教育課

県

教育委員会では、本年度「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」を策定し、教職員の綱紀の粛正及び服務規律の確保について、一層の周知徹底を図ってきました。それにもかかわらず、小中学校教職員による不祥事が後を絶たず、その内容も児童買春や盗撮行為、横領、違法薬物の輸入など、教職員としての責任感や人としての倫理観の欠如が要因と言わざるを得ない重大な事案が続発し、極めて危機的状況にあります。

こ

うした状況を踏まえ、市町村と県が一丸となって不祥事を根絶し、長野県教育に対する県民の皆様の信頼を回復するため、9月2日、「**教職員の不祥事根絶のための教育委員会緊急会議**」を開催しました。会議には市町村教育委員会の教育委員長や教育長、県教育委員会の教育委員長、教育委員、教育長など、およそ100人が出席しました。

会

議は、単なる県からの伝達という形ではなく、参加者により当事者意識を持つていただこうということで、10のグループに分かれ意見交換を行いました。およそ1時間の意見交換の中では、学校と市町村教育委員会が連携を取りながら不祥事防止に取り組んでいる事例や、教育委員や教育長ができるだけ学校を訪れ、授業を参観したり教員と懇談したりしている事例が紹介されました。また、不祥事防止のためには、教職員や学校と地域が積極的に交流するなど、地域力を生かした取組が有効という意見や、学校運営に校長がリーダーシップを発揮して教員同士が人間関係を密にする環境を作り、教育委員会がそれを支えることが必要といった意見など、さまざまな意見が出されました。

会

議には阿部知事も出席し、「子どもを中心と考えれば、市町村と県、知事・市町村長と教育委員会は共同責任を負っている。今の危機感や問題意識をみんなで共有し、一緒になって長野県教育の再生を進めていきたい。」との発言がありました。

こ

の会議での議論を踏まえ、各地域においてより具体的な意見交換を行い、不祥事防止のための取組を充実させていきます。併せて「行動計画」を着実に実施することにより、一日も早く信州教育の信頼を回復できるよう努めてまいります。

目次
戻る

■お問い合わせ
教育総務課 総務係
TEL : 026-235-7421
FAX : 026-235-7487
e-mail :
kyoiku@pref.nagano.lg.jp

平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

教学指導課

平

成25年度の全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に4月24日に行われました。調査には、全国の国公私立約3万1千校の約229万人が参加しました。長野県では、小学校373校、中学校180校、計553校の児童生徒、生徒3万7953人が調査に参加しました。教科に関する調査では、国語と算数・数学の2教科の基礎的知識を問うA問題と、知識を活用する力を見るB問題で実施されました。また、児童生徒や学校を対象とした質問紙調査も実施されました。

○教科に関する調査結果の概要

☆各教科の本県の平均正答率と全国の平均正答率との差は以下になりました。(単位%)

小学校国語A	63.7 (全国 62.7)	+1.0
小学校国語B	50.3 (全国 49.4)	+0.9
小学校算数A	77.8 (全国 77.2)	+0.6
小学校算数B	59.5 (全国 58.4)	+1.1
中学校国語A	76.8 (全国 76.4)	+0.4
中学校国語B	65.9 (全国 67.4)	-1.5
中学校数学A	61.9 (全国 63.7)	-1.8
中学校数学B	40.2 (全国 41.5)	-1.3

★小学校においては、すべて全国平均を上回っており、特に活用する力を見るB問題は良好な結果となりました。

★中学校においては、国語Aを除き全国平均を下回っており、特に数学については大きな課題が見えてきました。

○児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の結果

★地域行事への参加は、昨年度に引き続き、全国の割合を上回ることから、地域とかわりながら生活をしている状況が伺えます。

★小中学校共に、1カ月間に読む本の冊数は全国平均に比べて多く、学校図書館を活用した授業の実施も他県に比べて高い割合になっているなど、本県の子どもたちが本に親しんでいる様子が伺えます。

★放課後や長期休業に補充学習が行われている割合が少ないことや、家庭学習での予習や復習が少ないことなどが明らかになってきています。

○今後の取組

★全国学力・学習状況調査分析委員会による分析と指導改善

- ・本県の課題と改善の方向を検討するために、学識経験者(2名)、PTA(2名)、学校関係者(4名)で構成する分析委員会を設置して調査結果を分析します。
- ・分析委員会からの分析結果及び授業改善に関する具体的な提言については、リーフレット等にとまとめ、小中学校の全教職員に伝え、授業改善に活用していただきます。
- ・家庭学習の充実を図るために、保護者に対して、児童生徒の学力や学習状況を伝え、学校と家庭の連携を呼び掛けていきます。

★全国学力・学習状況調査分析研修の実施
各学校における結果の分析や改善、公表等を進めるために、各校の教頭・研究主任等を対象に研修会を実施します。

目次
戻る

■お問い合わせ

教学指導課
義務教育指導係
TEL 026-235-7434
FAX 026-235-7495
E-mail
kyogaku@pref.nagano.lg.jp

◇学校間連携・高大連携・産学連携「デパートサミット」◇

長野県高等学校長会商業部会（長野県商業教育研究会）

事務局 長野商業高等学校

1 「デパートサミット」事業とは

この取組みは、各校独自の実習販売、商品企画開発、高大連携、産学連携等をさらに推進し、ホンモノ志向の教育を目指し、各校の高校生が集うことにより、学びをつなぎ、深め、生かせることがねらいです。そのため「デパートサミット」事業は専門的・実践的な知識・技術を学ぶ高校生合同学習会「マーケティング塾」開講とその学びを検証する全国高校生合同販売「デパートゆにっと」開催が2本の柱です。

今回の「マーケティング塾」には県内の高校12校45名、「デパートゆにっと」には県外4校を加えた16校、県内外の自主参加高校生を合わせて75名が参加しました。



第4回マーケティング塾のビジネスマナー研修

2 高校生合同学習会「マーケティング塾」について

「マーケティング塾」は、県内の大学と民間企業の協力を得て、製品企画開発、価格戦略、流通政策、プロモーション等のマーケティングのより専門的な知識・技術を学ぶ講義とそれを実践に活用するためのグループディスカッションやプレゼンテーション等を組み合わせて実施しました。

「地域の課題を見つけ解決の方策をビジネスに結びつける」「商品のストーリーを明らかにする」「真の顧客満足とは何か」「消費者目線で考える」等の言葉が高校生の心に響き、回を重ねるごとに実践力の前提となる知力と姿勢が培われていくのが伺えました。産業界の講師からは「商品のネーミング」「プレゼンテーション技法」「本物の顧客満足の実践」「本物のおもてなし」「本物の接客」等の実践的な技法を学びました。



第2回マーケティング塾のグループディスカッション（商品企画開発の現場）

3 全国高校生合同販売「デパートゆにっと」について

長野市内の百貨店を舞台とし、3日間の日程で開催した合同販売は、文字どおり本物（ホンモノ）に触れる機会でした。百貨店側から入退店方法、言葉づかい、接客態度等の指導を受け「社員と同じ立場で働く」緊張感に包まれ開店しました。「モノを売る」「仕事ではなく「接客してお買い上げいただく」仕事であること、金銭授受の方法に戸惑いながらも、高校生が笑顔で接客する活気溢れるおもてなしの空間づくりができました。

売上目標には達しませんが、百貨店側から「皆さんの活動を見ていて、私どもも接客の基本を改めて見つめ直すことができました」という賛辞をいただき、「お疲れ様でした」の挨拶と大きな拍手のもと幕を閉じました。

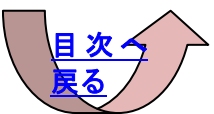


第3回マーケティング塾の商品発表会
プレゼンテーション

4 初めてのデパートサミット事業を終えて

本事業は、言語活動と課題解決型学習の場を提供し、答えのない（正解のない）課題に対する取り組み方について、実践を通して学ばせることができました。

学びの場を学校外に求めたことにより、専門教育をより魅力的なものとし、生徒のキャリア育成や人格形成に大きな教育効果があったことを改めて実感することができました。



目次へ戻る

デパートゆにっとの様子（平成 25 年 8 月 19 日～21 日）



朝礼の様子（東急の担当者から真剣に指示を聞いています）



高校生らしい元気いっぱいの接客が好評でした



阿部知事にご来場いただきました



にぎわう売り場

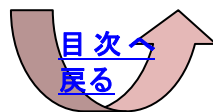


ゆにっとオリジナル開発商品のお弁当



「デパートゆにっと」オープニングセレモニー 教育長テープカット

■お問い合わせ
長野県商業教育研究会事務局
（長野商業高等学校内）
TEL：026-234-7666
FAX：026-234-7677
e-mail：choshoh66@nagano-c.ed.jp



ご存知ですか

もうすぐ開校「諏訪清陵高校附属中学校」

高校教育課

平成26年4月に県内2校目の県立の併設型中高一貫校となる諏訪清陵高校附属中学校が開校します。

【目指す生徒像 社会に貢献できる骨太な人材】

長野県の中高一貫教育の教育理念「人の心の痛みがわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、様々な分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成を目指す。」により、諏訪清陵高校附属中学校では「高い学力」「広い視野」「強い意志」を備えた**21世紀の社会に貢献できる骨太なリーダーの育成**を目指します。

そのために、諏訪清陵高校附属中学校では、深い学習、体験的・課題探究的な学習活動、異年齢集団の交流の活用などにより、深い思考力・主体的に学ぶ力・協調性や指導力・やり抜く精神力などを涵養する教育を6年間かけて確実に推進していきます。

【特色ある教育活動】

中高6年一貫の良さを最大限に生かして、スパイラル学習・深く考える学習・主体的な調べ学習により、**基礎基本の深い理解と定着から発展的・応用的な内容（高校の内容等）まで幅広く学習し、学力の向上を図ります。**

また、「アカデミック・コミュニケーション」（総合的な学習の時間）では、実践的な言語能力を身につけるために、グローバル・サイエンス・キャリアの3つの題材について、取材やレポート、日本語や英語によるディベート、卒業論文等の手法を用いて探究します。

毎日昼食後に行う10分間の英語学習の「Eタイム」では、ALTとの会話、スピーチ、歌、チャンツ、速読、多読などを行い、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。

さらに、将来を展望する構想力と自立心の育成のために、憧れの先輩の職場訪問・体験、社会人講演会「リーダーに学ぶ」、大学見学等の**6年間一貫の充実したキャリア教育**を展開します。

【順調に進む準備作業】

学校では、来年4月の開校に向けた準備作業で大忙しです。諏訪清陵高校附属中学校の中高一貫教育について、小学生とその保護者、教育関係者、住民の皆様等に理解していただくために、5月には諏訪市文化センターで学校説明会を、7月から8月にかけては、諏訪地方の6会場と塩尻市・辰野町の合計8会場で地域懇談会を開催しました。今後は、12月7日の入学者選抜に向けて、**9月28日・10月1日の両日に入学者選抜説明会**を行う予定です。

また、中学生棟の建設工事は、順調に進み、来年2月の竣工予定です。中学生棟の特徴は、鉄筋コンクリート造3階建てで、太陽光発電・空気集熱式パンプスソーラー・外断熱・吹き抜け階段高窓からの採光などのエコスクールで、可動壁式のオープン教室、ラウンジ、図書コーナーを設置する予定です。

目次
戻る

■お問い合わせ

高校教育課 高校改革推進係

TEL : 026-235-7452

FAX : 026-235-7488

e-mail

koko@pref.nagano.lg.jp

イベント情報・お知らせ

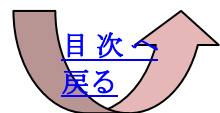
イベント・募集

10月から11月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのホームページをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆セミナー 移動講座「バリアを越えて、みんなが1つの『私たち』に」	10月5日(土) 13:00~16:30 会場:駒ヶ根市アルパ多目的ホール	講義Ⅰ:「障害者と『健常者』」 講義Ⅱ:女性と男性	講師(講義Ⅰ) 堀越 善晴 明治大学・立教大学兼任講師 講師(講義Ⅱ) 堀越 倫世 関東税理士会長 野県支部連合会副会長
◆家庭・幼児教育講座 「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	10月24日(木) 9:40~16:00 ※託児可	講義:「スポーツにつながる、楽しい運動遊び」 演習:「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	講師 渡辺 敏明 信州大学教育学部准教授
◆生涯学習月間講座 シンポジウム「子どもの未来づくりのために—体験格差をいかに埋めるか—」	11月7日(木) 9:40~16:00	基調講演:「体験活動とその影響—日本の子どもに起こっている問題を考える」(仮題) 話題提供(体験活動の充実に向けた取組の報告)、意見交換	講師 明石 要一 千葉大学教育学部教授
◆家庭・幼児教育講座 「発達障害の理解と支援」	11月25日(月) 13:00~16:00 ※託児可	講義:「発達障害の理解と支援」	講師 堀内 澄恵 総合教育センター生徒指導・特別支援教育部専門主事

※ 受講は無料です
※ 会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。



■お問い合わせ
 長野県生涯学習推進センター
 〒399-0711
 長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
 TEL : 0263-53-8822
 FAX : 0263-53-8825
 e-mail : shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

◆長野県教員研修体系（案）パブリックコメントについて

長野県教員研修体系作成会議では、「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」の提言（平成25年3月19日）を受け、教員の資質能力の向上を図るための研修のあり方を検討してきました。

この度、これまでの議論を踏まえて、**長野県教員研修体系（案）**としてまとめましたので、**その内容について広く県民の皆様からのご意見を募集します。**

○募集事項

「長野県教員研修体系（案）」に対する「意見

○募集期間

平成25年9月13日（金曜）～平成25年10月12日（土曜）

○ご意見の提出先

長野県教員委員会事務局
教学指導課義務教育指導係

【郵便】

〒380-8570

（県庁専用番号のため住所記載不要）

【ファクス】

026-235-7495

【電子メール】

kyogaku@pref.nagano.lg.jp

※詳細につきましては、次のページをご覧ください。

↑「長野県教員研修体系（案）」のホームページ↑

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/2013taikei.html>

■お問い合わせ

教学指導課義務教育指導係

TEL : 026-235-7434

FAX : 026-235-7495

e-mail : kyogaku@pref.nagano.lg.jp

◆2013県民スポーツフェスティバル

スポーツで広げよう 人の輪 豊かな人生

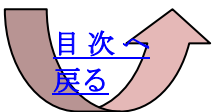
日時：10月20日(日)

会場：松本平広域公園等

ノルディックウォーキングやバリアフリーディスクゴルフなど当日参加が可能な種目もあります。日頃体を動かす機会をなかなかとれない方も、あそびの広場でレクリエーション体験してみませんか。多くの皆様の参加をお待ちしております。

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/sports-ka/sport/taikai/festival.html>



■お問い合わせ

長野県教育委員会事務局スポーツ課
〒380-8570

長野県長野市大字南長野字幅下 692-2

TEL : 026-235-7447

FAX : 026-235-7476

e-mail : sports-ka@pref.nagano.lg.jp

あとがき

メールマガジン 10月号をお送りします。

朝夕めっきり涼しくなりました。

秋が段々深まっていきます。

(この「あとがき」では、季節や天候の話ばかりしてますね。)

さて、最近の大きなトピックスといえば、やはり 2020 年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定したことでしょうか。

開催が決まっただけでこんなに盛り上がっているんですから、本番の盛り上がりたるや計り知れません！

さて、2020 年開催ですから、7 年先になります。

きっと多くの方がそうであるように、私もニュースを見たとき、「7 年後、自分は何をしているかな～」と考えました。

同時に、「7 年前、私は何をしていたんだろうか」、とも。

そういえば、7 年前はまだ学生でした。そんなに前のことだと思っていなかったのに、記憶があまりに曖昧なことに驚きます。

真面目に勉強ばかりしていたわけではなかったと思うのですが。

こんな風に、つらつらと過去のことを思い出そうとしてしまうのは秋のせいでしょうか。

7 年前はあいまいですが、きっと 7 年後は、「東京開催が決まったときは県教委でメルマガ編集してたな～」と思いながら、オリンピック・パラリンピックを応援していると思います。(か)

◆長野県のホームページのリニューアルに伴い、長野県教育委員会のホームページの URL が変わりました。
◆新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」をご活用ください。

